

100億宣言

美しい環境を未来へ



焼却溶融炉(100t/日)

- 本社所在地：宮崎県小林市北西方1084-1
- 事業概要：産業・一般廃棄物(収集運搬、中間処理(焼却、中和、破碎、圧縮、分離))、太陽光パネルリサイクル、廃油回収、フロン回収・破壊
- 常時使用する従業員：80名
(2026年3月時点)
- 現在の売上高：18億円
(2026年3月期)
- 法人番号：7350001009825
- Web：https://www.k-hokusei.co.jp/

九州北清株式会社（廃棄物処理業）

企業理念・100億宣言に向けた経営者メッセージ



代表取締役
川井 千香子

人を愛し、仕事を愛し、愛し愛される会社・美しい環境を未来へ

九州北清は創業以来、一貫して地域社会の環境保全に取り組んで参りました。売上高100億円企業への成長は、単なる数値目標ではありません。より高度で安全でニーズのあるリサイクルインフラを提供し、地域と社員とお客様へ最高の価値還元するための持続可能な成長ロードマップです。

売上高100億円実現の目標と課題

実現目標

2035年に売上高100億円（年率約20%の持続的成長）を達成し、信頼され「愛される会社」を具現化します。
コア事業の基盤整備を進め、自治体・企業と強固に連携。南九州から九州全域へ広域的な資源循環と災害対応力を強化します。この強固な財務体制を原資に、待遇改善と誇りを持てる環境づくりを推進します。

課題

課題①：未来へつなぐ強固な処理基盤の確立
既存施設の維持に加え、管理型最終処分場や焼却炉の新設へ投資を断行。災害ごみ対応力の強化と従業員教育を徹底し、地域社会の要請に応える持続可能で強固な処理基盤を構築します。
課題②：新規リサイクルの実証から実装へ
太陽光パネルリサイクルを主軸とした、循環型廃棄物処理システムの構築と安定運用の確立。

売上高100億円実現に向けた具体的措置

目指す成長手段

- ・現在建設中の管理型最終処分場の竣工と運営体制構築
- ・新規焼却炉の建設と運営
- ・太陽光パネルの材料リサイクルフローの実装
- ・産廃、一般廃棄物の広域処理体制の構築とインフラ整備
- ・協力業者や行政と連携した災害ごみの処理体制確立
- ・処理施設の強靱化

実施体制

【事業体制：広域ワンストップインフラの運用】
業務・プラント部門：焼却溶融炉等の自社施設を高度に安定稼働。
営業・開発部門：南九州エリアを軸に九州全域のパートナーシップ（行政・協力業者）を開拓・連携し、適正処理から資源リサイクルまでをワンストップで完結。
【組織体制：安心と誇りを持って働ける組織】
経営層・管理部門：高い有給取得率の維持や残業削減を主導し、社員個々のパフォーマンス向上を図る環境を整備。若者が「地域と地球に貢献できる」と誇れる企業風土を全社一丸で醸成。

※本宣言は企業自身がその責任において売上高100億円を目指して、自社の取組を進める旨を宣言するものです

売上高100億円実現への目標推移

